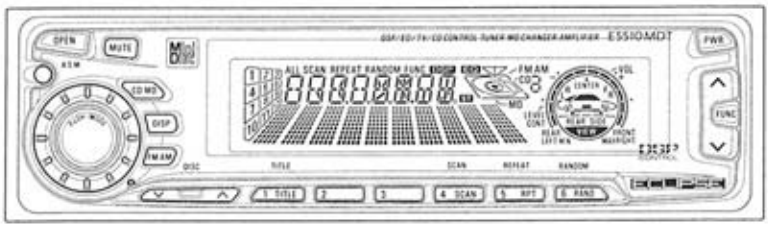
ECLIPSE

マルチコントロールインダッシュ4MDメインユニット

E5510MDT

取扱説明書



お買い上げいただきありがとうございます。
正しくご使用いただくために、この「取扱説明書」をよくお読みください。
また、お読みになった後も、必要なときにすぐご覧になれるよう
大切に保管してください。

FUJITSU TEN

安全に正しくお使いいただくために

この取扱説明書および製品では、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、以下の表示をしています。表示と内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠ 警告	この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

⚠ 警告

- 本機はDC12V⊖アース車専用です。大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車などの24V車では使用しないでください。
  火災などの原因となります。
- 自動車の運転中に MD 等の交換をしないでください。
  事故などの原因となります。
- 包装材のビニール袋をかぶらないでください。
  大きな事故や窒息死の原因となります。
- 自動車の運転中に音量調節等の操作をしないでください。
  このような操作は、必ず安全な場所に車を停止させてから行ってください。
- 事故防止のため、電池は幼児の手の届かない所に保管してください。
  万一、お子さまが飲み込んだ場合はただちに医師と相談してください。
- 本機を分解したり、改造しないでください。
  事故、火災、感電の原因となります。

⚠ 警告

- ヒューズを交換するときは、必ず規定容量(アンペア数)のヒューズをご使用ください。
  規定容量以上のヒューズを使用すると、火災の原因となります。
- 音が出ないなどの故障状態で使用しないでください。
  事故、火災、感電の原因となります。
- 万一、異物が入った、水がかかった、煙が出る、変な匂いがするなどの異常が起こりましたら、直ちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店にご相談ください。
  そのままご使用になると事故、火災、感電の原因となります。

⚠ 注意

- 運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度でご使用ください。
  車外の音が聞こえない状態で運転すると、事故の原因となることがあります。
- ディスク挿入口に異物を入れないでください。
  火災や感電の原因となることがあります。
- ディスク挿入口に手や指を入れないでください。
  けがの原因となることがあります。
- 本機を車載用として以外は使用しないでください。
  感電やけがの原因となることがあります。
- 長時間歪んだ状態で使用しないでください。
  スピーカが発熱し、火災の原因となることがあります。
- 本機は、不可視レーザー光を使用しています。本機を分解、改造しないでください。
  万一不具合が生じた場合には、必ずお買い求めの販売店にご相談ください。本機の改造は、危険なレーザー放射の被爆（視力の低下の原因）をもたらしたり、事故の原因となることがあります。

⚠ 注意

- **指定の電池以外は使用しないでください。また、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。**
  電池の破裂、液漏れにより、火災やけがの原因となることがあります。
- **電池を機器内に挿入する場合、極性＜＋・－＞に注意し、表示通りに入れてください。**
  間違えると、電池の破裂、液漏れにより、けがや周囲を汚染する原因となることがあります。

目次

使用上のご注意 5

MDチェンジャーについて 5
ミニディスク(MD)について 6
清掃について 7

各部の名称 8

基本操作 9

電源を入れる/切る 9
MDを聞く 9
ラジオを聞く 10
音量を調節する 11
その他 12

MD部の操作 18

MDを聞く 19
次のディスクに進む/前のディスクに戻る 20
演奏するディスクを指定する 20
4枚目のディスクを聞く（3＋1Play機能) 21
ディスクを取り出す 23
タイトル名/曲名を表示する 24
次の曲に進む/曲の頭に戻る 25
曲の始めの部分を演奏する(SCAN) 25
繰り返し演奏する(REPEAT) 26
曲の順番を変えて演奏する(RANDOM) 26

チューナ部の操作 27

自動的に放送局を記憶させる 27
手動で放送局を記憶させる 28
記憶させた放送局を確認する 29
放送局名を表示する 29
FM放送について 31

リモコンの操作 34
使用上の注意 34
清掃について 34
電源を入れる/切る 35
音量を調節する 35
機能を切り換える 35
チューナ利用時の操作 36
MD、CD利用時の操作 37
TV利用時の操作（TVチューナ接続時のみ） 38
電池を交換する 39

(別売)CDオートチェンジャー(CDプレーヤ)を接続したときの操作 41
基本操作 41
CDのタイトルを設定する 44
設定したタイトルを変更する 45
設定したタイトルを削除する 47

(別売)DSP/EQを接続したときの操作 48
DSPの操作 48
EQの操作 52

困ったときは 55
インフォメーションが点滅する 55

仕様について 61

アフターサービスについて 63

◆使用上のご注意

> ⚠ 警告
>
> 走行中のオーディオ操作は、運転に支障がないように安全には十分注意して行ってください。

MDチェンジャーについて

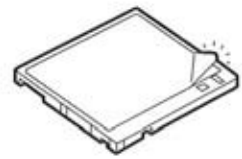
- 寒いときや雨降りのときは、車内のガラスが曇るように、デッキ内部にも露(水滴)が生じることがあります。
  この場合は、音がとんだり、再生が停止したりするので、しばらくの間、換気またはエアコンディショナーなどを始動し、除湿してからご使用ください。
- 本機内部は、精密な構造になっているので、分解、改造はしないでください。万一不具合が生じた場合には、お買い求めの販売店にご相談ください。
- 夏期は車内温度が高くなるので、車内の温度を下げてからお使いください。
- ミニディスク挿入口へは絶対に異物を入れないでください。
- 悪路を連続走行した場合、音がとぎれたりすることがありますが、故障ではありません。

ミニディスク(MD)について

●注意●

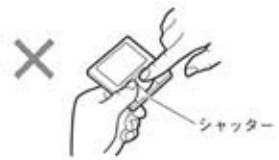
ミニディスクは直射日光や湿気の多いところを避けて保管してください。ミニディスクが反り、使用できなくなる恐れがあります。

・ ラベルがはがれかけていたり、ネームテープが貼ってあるミニディスクは使用しないでください。



・ ミニディスクは、ケースに入れて保管してください。

・ ミニディスクのシャッターは、手で開けないでください。



清掃について

・本機は、乾いた柔らかい布で拭いてください。汚れがひどい場合は、アルコールにひたした布をご使用ください。

●注意●

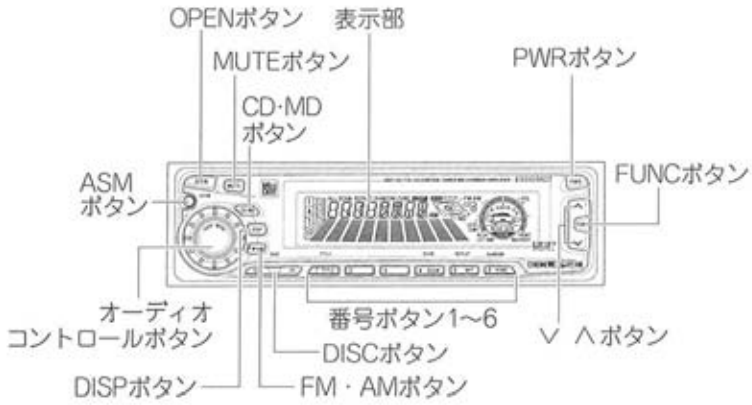
ベンジンやシンナーなどを使用すると、ケースや塗装が変質するので使用しないでください。

・ミニディスクのカートリッジ部表面についたホコリやゴミなどは乾いた布で拭き取ってください。

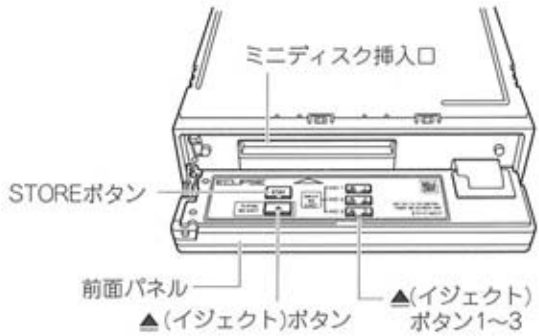
◆各部の名称

本機のおもなボタンを紹介します。
詳細は、各操作の説明を参照してください。(MD部の操作 18ページ、チューナ部の操作 27ページ)

本機正面

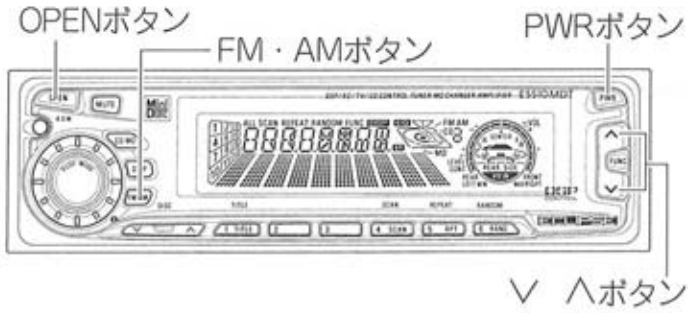


前面オープン時



●注意●

前面パネルの上に物をのせたり、手をついたりしないでください。



◆基本操作

本機をご利用いただくための基本的な操作について説明します。詳しくは、機能別の説明を参照してください。

■ 電源を入れる/切る

1. [PWR(パワー)]ボタンを押す

●注意●

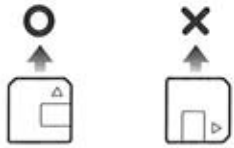
欧州車等、一部ACCポジションの無い車両の場合にはエンジンを切ってもOFFにはなりません（そのまま放置するとバッテリ上がりの原因となります）。

■ MDを聞く

1. [OPEN(オープン)]ボタンを押す
   前面パネルが開きます。
2. 挿入口にMDを挿入する
   挿入と同時に演奏を開始します。

●注意●

MDの矢印の向きを確認し、ラベル面を上にして挿入してください。



ワンポイント

MDの演奏を開始する状況は、使用時の設定により異なります。22ページの表を参考にしてください。

■ ラジオを聞く

1. [FM・AM]ボタンを押す

チューナの操作に切り換わります。

2. [FM・AM]ボタンを押して、FM/AMを切り換える

ボタンを押すごとにFM1→FM2→AM1→AM2の順に切り換わります。

3. [∨ ∧]ボタンを押して、放送局を選択する

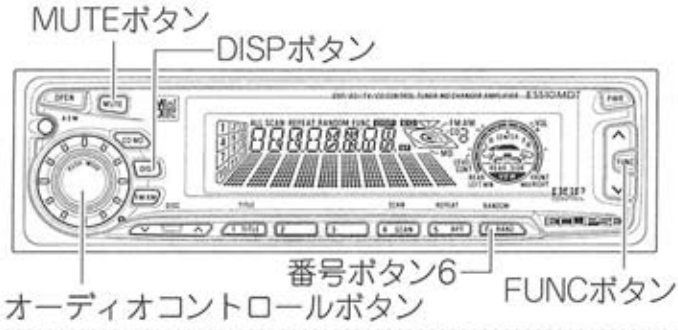
[∨ ∧]ボタンを短めに(1秒未満)押すと手動で、長めに(1秒以上)押すと自動的に放送局を探します。

∧ ....周波数の高いほうへ選局

∨ ....周波数の低いほうへ選局

ワンポイント

放送局を記憶させてある場合は[番号ボタン 1～6]のいずれかを押して、放送局を直接選択できます。(「手動で放送局を記憶させる」28ページ参照)



■ 音量を調節する

1. [オーディオコントロール]ボタンを左右に回す

左に回す .....音量が小さくなる

右に回す .....音量が大きくなる

ワンポイント

瞬時に音量を小さくしたいときは、[MUTE]ボタンを押します。
音量を大きくするには、もう一度[MUTE]ボタンを押すか、[オーディオコントロール]ボタンを右方向に回します。

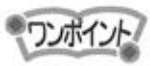
■ その他

本機は、他に次のような機能があります。

▼ガイドトーン（操作音）解除

お買い求めになったときは、本機を操作すると「ピッ」というガイドトーンがなるように設定されています。次の手順でガイドトーンが解除できます。

1. 電源が入っていることを確認する
2. [FUNC]ボタンを押す
3. 「BEEP OFF」と表示されるまで[番号ボタン6]を押す
4. 再度[FUNC]ボタンを押す
   ファンクションモードを解除します。



再びガイドトーンがなるように設定するときは、同様の操作を行い「BEEP ON」と表示させます。

▼スペアナ表示機能

[DISP(ディスプレイ)]ボタンを押すとスペアナ表示が切り換わります。

1. スペアナモードが表示されるまで[DISP(ディスプレイ)]ボタンを押す
2. [DISP(ディスプレイ)]ボタンを押して、表示を切り換える
   ボタンを押すと、次の順に切り換わります。

スペアナモード

スペアナ1　ビートタワー

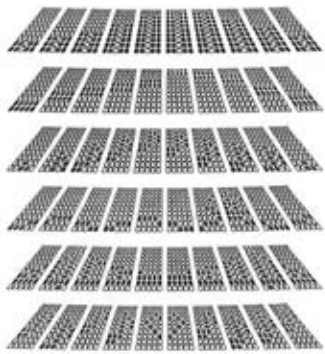
スペアナ2　ビート・ウェーブ

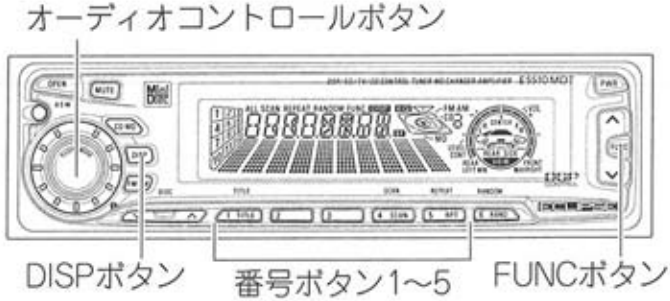
スペアナ3　メロディ

スペアナ4　ビッグ・ウェーブ

スペアナ5　ラバーズ・ブリッジ

スペアナ6　ゴスペル・ナイト





ワンポイント

スペアナモード（感度の幅）は、次の方法で切り換えることができます。

1. [DISP（ディスプレイ）] ボタンを押してスペアナ表示に切り換える
2. 「スペアナ□□」と表示されるまで [DISP（ディスプレイ）] ボタンを押す
   ボタンを押すごとにHi→Mid→Loの順に切り換わります。

▼時刻の設定

本機は、12時間表示になっています。 真夜中はAM 12:00、正午はPM 12:00と表示されます。

1. [DISP（ディスプレイ）]ボタンを押して、時計表示に切り換える
2. [DISP（ディスプレイ）]ボタンを押しながら[番号ボタン 1]～[番号ボタン 4]を押す

時間を調節します。

番号ボタン 1 .....数字が減る

番号ボタン 2 .....数字が増える

分を調節します。

番号ボタン 3 .....数字が減る

番号ボタン 4 .....数字が増える

ワンポイント

00分00秒(正時)に時計を合わせたいときは、[DISP(ディスプレイ)]ボタンを押しながら[番号ボタン 5]を押します。
正時合わせは、30分単位で切り換わります。
例)
PM 3:23→ [DISP(ディスプレイ)]ボタン+[番号ボタン 5] →PM 3:00
PM 3:32→ [DISP(ディスプレイ)]ボタン+[番号ボタン 5] →PM 4:00

▼ オーディオコントロールモードの切り換え

各モードの微調整が行えます。

1. [オーディオコントロール]ボタンを押す

   ボタンを押すごとに、次の順に切り換わります。

   1. VOLUME(音量)
   2. DSP(簡易調整)
   3. EQ(簡易調整)
   4. BASS(低音)
   5. TREBLE(高音)
   6. FADER(前後のスピーカのバランス)
   7. BALANCE (左右のスピーカのバランス)
   8. SUB-W LEVEL

2. [オーディオコントロール]ボタンを左右に回して調整する

   右 .....強調する
   左 .....弱める

ワンポイント

BASS、TREBLEは各ソース (AM、FM、CD、MD、TV) ごとの調整となります。

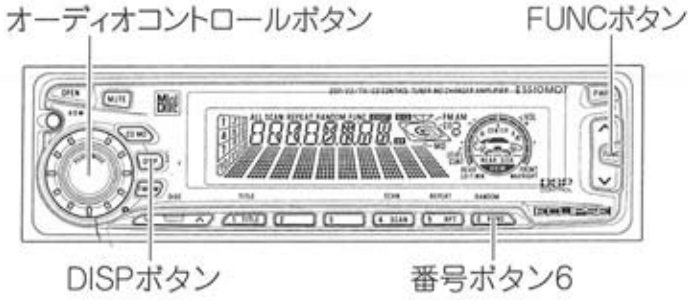
▼ サブウーファの位相切り換えをする

以下の手順で位相を切り換えます。

1. [FUNC]ボタンを押す
2. [番号ボタン5]を押す
   フルレンジスピーカとウーファとの音のつながりを位相を切り換えることにより改善できます。
   位相を切り換えて違和感なくつながる方を選択してください。
3. 再度[FUNC]ボタンを押す
   ファンクションモードを解除します。

○：コントロール可能　×：不可能

	DSP/EQ未接続時	DSP/EQ接続時			
		DSP/EQ OFF	DSP ON	EQ ON	DSP/EQ ON
VOLUME	○	○	○	○	○
BASS	○	○	○	×	×
TREBLE	○	○	○	×	×
BALANCE	○	○	○	○	○
FADER	○	○	×	○	×
SUB-W LEVEL	○	○	○	○	○
SUB-W PHASE	○	○	○	○	○



▼アイコンタクトアナライザー表示機能

1. [DISP(ディスプレイ)]ボタンを押して、時計表示または放送局名（ＭＤ時はタイトル）表示に切り換える
2. [DISP(ディスプレイ)]ボタンを長めに押す

ボタンを押すごとに、表示部右のインジケータが切り換わります。

3つの表示パターンと表示OFFの状態が順に切り換わります。

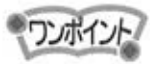
ワンポイント

オーディオコントロールモードの調整時にも各モードによって表示が切り換わり、調整レベルを確認することができます。アイコンタクトアナライザーの表示をOFFにしている場合、調整終了後、しばらくするとOFFに戻ります。

▼ ラウドネスの設定

ラウドネスを設定すると、一定のレベルで低音を強調します。小さな音量で聞くときにラウドネスをONにすると低、高音の不足感が補正されます。

1.「LOUD ON」と表示されるまで[オーディオコントロール]ボタンを押す



・ラウドネスを解除するときは、同様の操作を行い「LOUD OFF」と表示させます。

▼デモンストレーション機能

（販売店様向け機能）

お買い求め（取り付け）になったときは、本機およびオプションで接続した機器が持っている機能を一定の間隔で表示（デモンストレーション）するように設定されています。

次の手順で表示の設定/解除を行います。

1. 電源が入っていることを確認する
2. [FUNC]ボタンを押す
3. [番号ボタン6]を押す

   設定がONになっているときは解除され、OFFになっているときはONになります。
4. 再度[FUNC]ボタンを押す

   ファンクションモードを解除します。

⚠ 警告

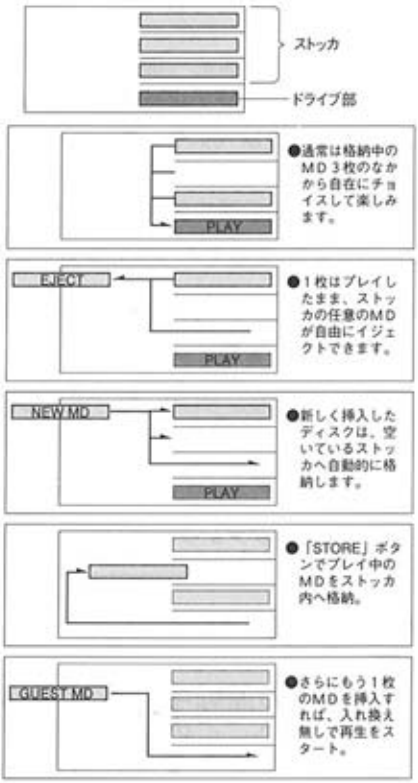
自動車の運転中に音量調節等の操作をしないでください。このような操作は、必ず安全な場所に車を停止させてから行ってください。

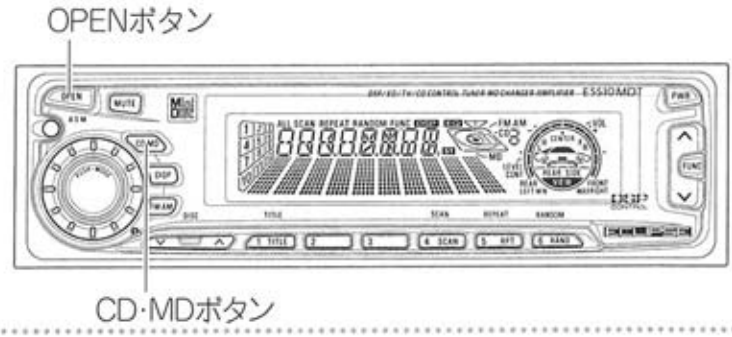
◆MD部の操作

ここでの操作は、[CD・MD]ボタンを押してディスクモードに切り換えてから行ってください。ここでは、すでに1枚以上のディスクを装てんしていることを前提に説明します。

ワンポイント

本機には再生していないディスクを格納する「ストッカ」を内蔵（ディスク3枚分）しております。
これにより、多種なディスクアクションが可能です。





■ MDを聞く

1. [CD・MD]ボタンを押す

ディスクモードに切り換わり、演奏が始まります。

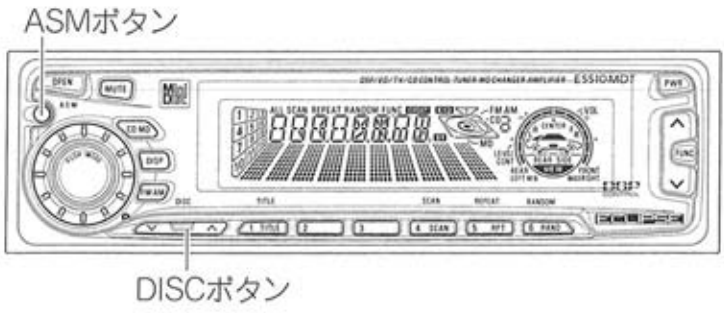
CDプレーヤ、CDチェンジャーを接続しているときは、ボタンを押すごとにMDチェンジャー→CDプレーヤ→CDオートチェンジャー1→CDオートチェンジャー2の順に切り換わります。

このとき、ディスクが装てんされていない機器を飛ばして表示が切り換わります。

ワンポイント

- ディスクが1枚でもセットされているときは、[OPEN(オープン)]ボタンが赤く点灯します。
- ディスクは、装てんされた順にMD1～3のディスク番号が付けられます。ディスプレイで装てんされているディスク数が確認できます。

- ディスクの演奏中に新たにMDを挿入口に差し込むと、自動的にディスクを吸い込み、空いているストッカに装てんします。この間、演奏は中断されません。



ワンポイント

・ディスクが2～3枚装てんされているときは、再生中のディスクの演奏が終了すると、自動的に次のディスクを再生します。

●注意●

MDに傷があると、演奏中に音が途切れることがあります。

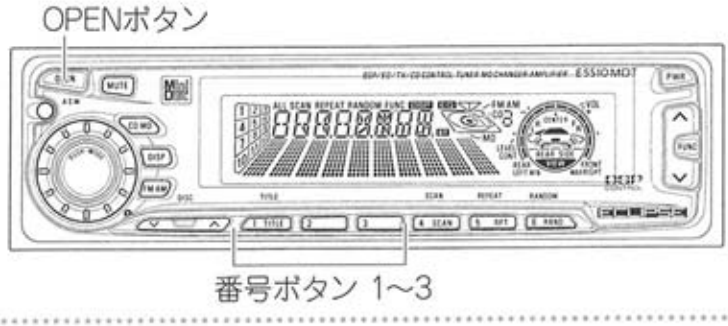
■ 次のディスクに進む/前のディスクに戻る

1. [DISC(ディスク)]ボタンを押す
   - ∧ .....MD番号が上のディスクへ移る
   - ∨ .....MD番号が下のディスクへ移る

■ 演奏するディスクを指定する

装てんしているディスクのうち、お聞きになりたいディスクをダイレクトに指定できます。

1. [ASM]ボタンを押す



2. [番号ボタン 1~3]のいずれかを押す
最初のストッカに装てんされたディスクを選ぶときは[番号ボタン 1]を、2番目、3番目のストッカに装てんされたディスクの場合は[番号ボタン 2]、[番号ボタン 3]を押します。

●注意●

3＋1Play機能を使って4枚目のディスクを演奏しているときは、この機能は使用できません。

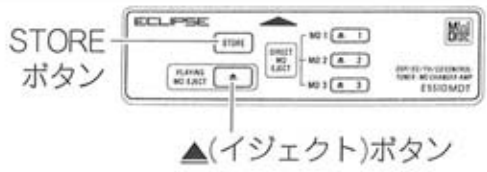
■4枚目のディスクを聞く（3＋1Play機能）

3枚のディスクをストッカへ装てんすると、3＋1Play機能としてもう1枚のディスクを再生できるようになります。
1枚目から3枚目までのディスクは、挿入口に差し込むと自動的に吸い込まれます。

●注意●

続けてディスクを装てんするときは、ディスク挿入後[OPEN（オープン）]ボタンが赤く点灯するのを確認してから、次のディスクを挿入してください。

1. [STORE（ストア）]ボタンを押す
ドライブ部に装てんされているディスクがストッカへ移動します。



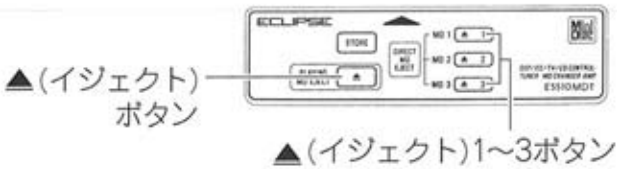
2. 4枚目のディスクを挿入口に差し込む

自動的に4枚目のディスクの演奏を開始します。

ワンポイント

- 4枚目のディスクが入っているときは、ストッカ内のディスクの再生や交換はできません。前面パネルの[▲(イジェクト)]ボタンを押して、4枚目のディスクを取り出してから操作してください。
- 4枚目のディスクの演奏終了後も、繰り返し同じディスクを再生します。
- ディスクを挿入すると、下表のように動作します。

POWER	TUNER	装着している MD の数	MD演奏状況
OFF	-	0	演奏開始
OFF	-	1~2	電源OFFのまま
OFF	-	3	[STORE]ボタンを押してMD挿入後、演奏開始
ON	ON	0	演奏開始
ON	ON	1~2	TUNER ONのまま
ON	-	演奏中	演奏を中断せず、新しいMDを格納



●注意●

すでに4枚のディスクが入っているときは、別のディスクを挿入しないでください。
本機に装てん可能なディスク枚数は、最高4枚です。

■ ディスクを取り出す

ディスクを取り出すには、2通りの方法があります。

▼演奏中のディスクを取り出す

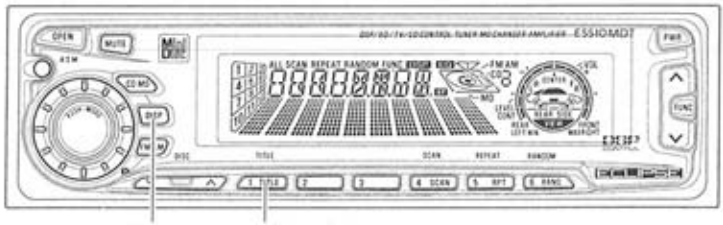
1. 前面パネルの[▲(イジェクト)]ボタンを押す

   演奏中またはドライブ部に装てんされているディスクが排出されます。

▼ 演奏を中断しないで、任意のディスクを取り出す

1. 前面パネルの任意の[▲(イジェクト)1～3]ボタンを押す

   ボタンを押された番号のディスクが排出されます。



DISPボタン　番号ボタン 1

■ タイトル名/曲名を表示する

ディスクにタイトル名や曲名などが記録されているときは、それらをスクロール表示することができます。表示可能な文字数は、英数字で100文字、カタカナ混在だと100文字未満まで表示します。表示部には、最大10文字まで表示され、以降の文字はスクロールして表示されます。

1. [DISP（ディスプレイ）] ボタンを押して、タイトル名または曲名が表示されるまで切り換える
   ボタンを押すごとに、時計→スペアナ→タイトルの順に切り換わります。

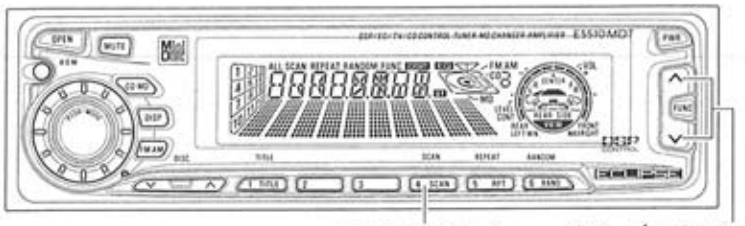
2. [番号ボタン 1]を押す
   ボタンを押すごとに、ディスクタイトル→トラックタイトルの順に切り換わります。

ワンポイント

[番号ボタン 1] を長めに（1秒以上）押すと、トラックタイトルが順に表示されます。再度ボタンを長めに（1秒以上）押すと解除されます。

●注意●

ディスクにタイトルが記録されていないときや本機の表示部にディスクのタイトルまたは曲名が表示されていないときは、この機能はご使用になれません。



■ 次の曲に進む/曲の頭に戻る

次の曲や演奏中の曲の頭へ移動します。

1. [∨ ∧]ボタンを押す
   ∧ .....次の曲に進む
   ∨ .....演奏中の曲の頭に戻る

ワンポイント

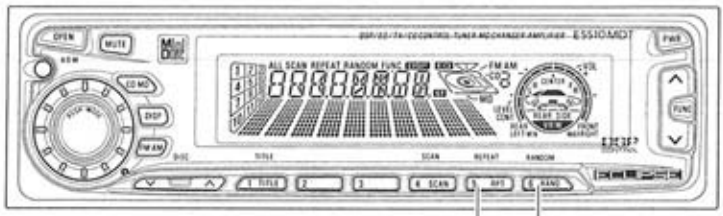
ボタンを押しつづけると、演奏中の曲を早送り(∧方向)または早戻し(∨方向)します。

■ 曲の始めの部分を演奏する(SCAN)

1. [番号ボタン 4]を押す
   演奏しているディスク全曲の始めの部分を10秒間ずつ演奏します。
   「ALL SCAN」と表示されるまで押すと、装てんしている全ディスクの1曲目を10秒間ずつ演奏します。

●注意●

ディスクが4枚装てんされているときは、ALL SCANはご使用になれません。



■ 繰り返し演奏する(REPEAT)

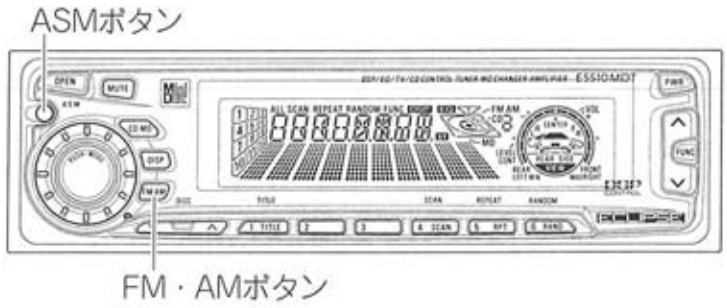
1. [番号ボタン 5]を押す
   演奏中の曲を繰り返し演奏します。
   「ALL REPEAT」と表示されるまで押すと、演奏中のディスクを繰り返し演奏します。

■ 曲の順番を変えて演奏する(RANDOM)

1. [番号ボタン 6]を押す
   演奏中のディスク内の曲を順不同に演奏します。
   「ALL RANDOM」と表示されるまで押すと、装てんしている全ディスク内の曲を順不同に演奏します。

ワンポイント

- まれに同じ曲が続けて演奏（選択）されることがありますが、故障ではありません。
- 「曲の始めの部分を演奏する」、「繰り返し演奏する」、「曲の順番を変えて演奏する」を選択すると表示部上部に「SCAN」、「REPEAT」、「RANDOM」、「ALL」などの文字が表示され、使用中の機能を確認することができます。



◆チューナ部の操作

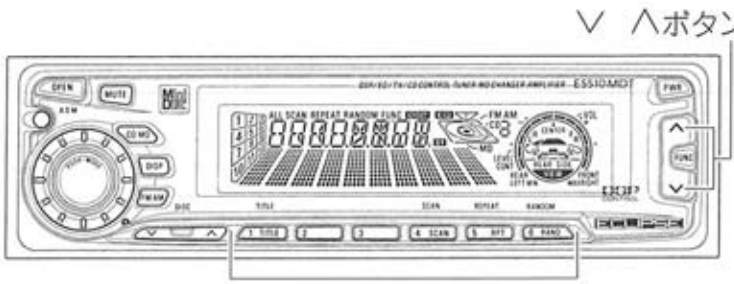
ここでの操作は、[FM・AM]ボタンを押して、チューナの操作に切り換えてから行ってください。
放送局を記憶させるには、自動と手動の2通りの方法があります。
本機は、AM1、AM2が各6局、FM1、FM2が各6局の合計24局を記憶できます。

■ 自動的に放送局を記憶させる

1. 「ASM ON」と表示されるまで[ASM]ボタンを押す
周波数の高い方へ自動的に選局を始めます。
受信電波の強い局が周波数の低い方から高い方へ順に記憶されます。
「ASM END」と表示されると完了です。操作完了後は、最後に記憶された放送局を受信します。

ワンポイント

・ASMとは、オートステーションメモリーの略です。
・ご希望の放送局が記憶されなかったときは手動で放送局を選択することもできます。(「手動で放送局を記憶させる」28ページ参照)



■ 手動で放送局を記憶させる

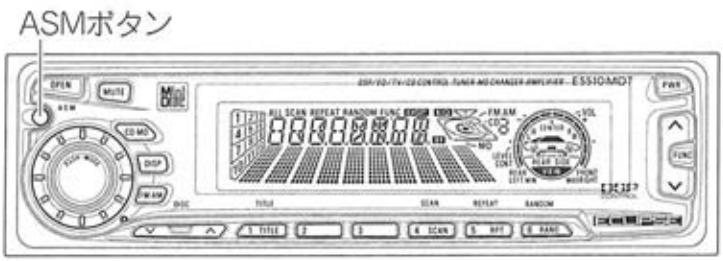
1. [∨　∧]ボタンで記憶する周波数に合わせる
2. 「P1～6 MEMORY」と表示されるまで任意の[番号ボタン]を押す
   選択した放送局が[番号ボタン]に記憶されます。このボタンをプリセットボタンと呼びます。

ワンポイント

[番号ボタン]を押すと、プリセットした放送局を呼び出すことができます。

●注意●

車両の整備、本機の取り外しなどによってバッテリーとの接続が断たれたときおよびリセットボタンを操作したときは、ここでの記憶は消去されます。この場合は、改めて放送局を記憶させてください。



■ 記憶させた放送局を確認する

1. [ASM]ボタンを押す
「P.SCAN」と表示され、記憶された放送局を5秒間ずつ受信します。
再度[ASM]ボタンを押すと解除されます。

■ 放送局名を表示する

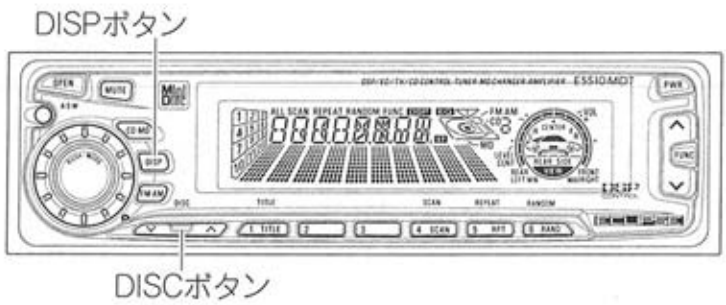
受信した周波数に対応する放送局名を表示します。表示する放送局名は、各地域で異なりますのでお使いのエリアを選択してください。

ワンポイント

選択したエリアにその周波数がない場合、放送局名は表示されません。

●注意●

エリアを選択しても、そのエリアでの周波数はプリセットされません。



1. [DISC(ディスク)]ボタンを押す

ボタンを押すごとに、下表の順に放送局名エリアが切り換わります。ご使用のエリアを選択してください。

エリア名	対象となる都道府県
ホッカイドウ	北海道
トウホク	青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島
カントウ	茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川、新潟、山梨、長野
チュウブ	岐阜、愛知、三重、富山、石川、福井、静岡
キンキ	滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山
チュウゴク	鳥取、島根、岡山、広島、山口
シコク	徳島、香川、愛媛、高知
キュウシュウ	福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄
セッテイ　カイジョ	

2. 放送局名が表示されるまで［DISP(ディスプレイ)］ボタンを押す

●注意●

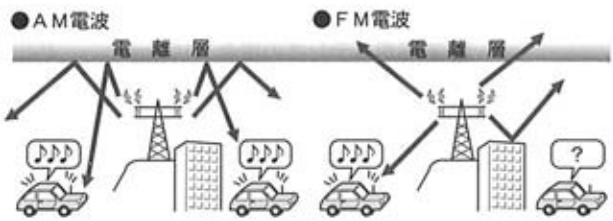
- 500W以下のAM放送局(中継局)および100W以下のFM放送局(中継局)のデータには対応していないため、放送局名が表示されません。
- 設定されているエリア以外の放送局を受信したときは、放送局名が表示されない場合があります。
- 同一エリアに複数の放送局があるときは、次のような表示をする場合があります。
  IWATE/NHK……FM岩手とNHK FMの場合
- 放送局によっては、正式な名称を表示しないときがあります。(10文字まで表示します。)
- 本機の放送局名データは、平成12年1月1日現在のものです。

■ FM放送について

FM放送は、普通のラジオ放送(AM)に比べて、よい音質で聞くことができるうえ、ステレオ受信もできます。しかし、FM電波の性質上、移動する車で受信するには以下の点をご了承ください。

1. FM電波の直進性

FM電波は、AM電波に比べて周波数が高いため、光に似た性質をもっています。そのため建物や山に電波がさえぎられて、受信できない場合もでてきます。したがってFM電波の受信範囲は、AM電波に比べてかなり狭くなります。

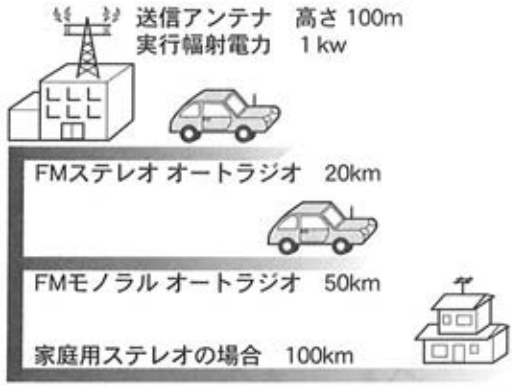


2. フェードアウト

FM放送のように高い周波数の電波は、「物」に反射されやすいという性質をもっています。そのため建物やポール等の障害物の陰を車が通過すると、アンテナに十分な電波が入らなくなり、音が途切れて「シャッ、シャッ」というような雑音が生じる「フェードアウト」(消失)現象が起こることがあります。

3. FM放送のサービスエリア

家庭用ステレオでFM放送を受信する場合は、アンテナを高くしたり、高感度アンテナを使用できるため、電波が弱くても十分に聞くことができます。
しかし自動車ラジオの場合は、走りながら受信し、アンテナ形状や取り付け位置の制限、車のエンジン雑音の影響などもあって家庭用に比べて良聴地域は狭くなります。
電波を十分にキャッチするために、アンテナは全段のばしてお使いください。

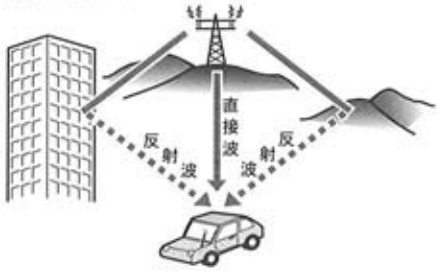


(図の聴取可能範囲は、障害のない平坦地の場合の一例であって、電力、地形等によって大きな差異があります。)

4. マルチパス

放送局の送信アンテナからの直接波と、建物や山にぶつかって反射した反射波を同時に受信すると、高音域で「ジュル、ジュル」という雑音がでたり、女声のアナウンスがハスキーになったりします。これを「マルチパス」(多重伝播)ひずみといいます。

このような現象は、2の「フェードアウト」と同様にFM放送のように高い周波数の電波特有の伝わりかたに起因しています。この現象が起こったときは、車を移動させる以外に避けることはできません。



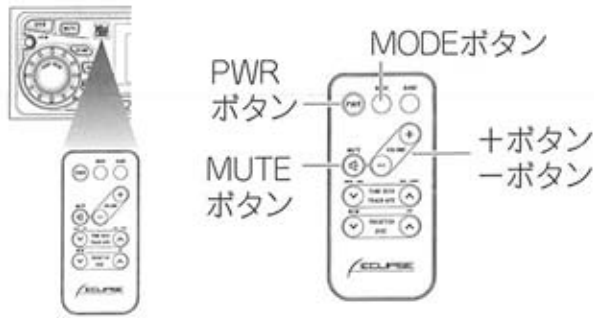
◆リモコンの操作

使用上の注意

- リモコンは小型で軽量なため取り扱いには注意してください。落としたりぶつけたりすると、破損したり、電池の消耗を早めたり、誤動作の原因になります。
- リモコンは湿気、ほこりを避け、ショックを加えたり、水などをかけたりしないでください。
- ダッシュボードなど直射日光のあたる場所には置かないでください。
- 運転の妨げにならないようにご使用ください。

清掃について

- リモコンのお手入れの際は、乾いた布(汚れがひどい場合は水を少しつけて堅くしぼった布)で拭いてください。ベンジン、シンナー類を使うと、ケースや塗装が変質しますので、絶対に使用しないでください。



■ 電源を入れる/切る

1. [PWR(パワー)]ボタンを押す
   ボタンを押すごとに電源が入ったり、切れたりします。

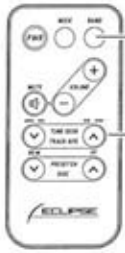
■ 音量を調節する

1. [＋]ボタンまたは[－]ボタンを押す
   ＋ .....音量が上がる
   － .....音量が下がる

▼瞬時に音量を下げる(ミュート)
[MUTE(ミュート)]ボタンを押すと、瞬時に音量を小さくしたり、元に戻したりすることができます。

■ 機能を切り換える

1. [MODE(モード)]ボタンを押す
   ボタンを押すごとに、チューナ→ディスク→TVの順に切り換わります。



■ チューナ利用時の操作

▼FM/AMを切り換える

1. [BAND(バンド)]ボタンを押す

   ボタンを押すごとに、FM1→FM2→AM1→AM2の順に切り換わります。

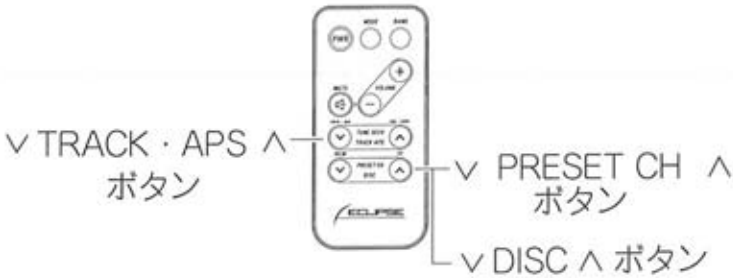
▼放送局を選ぶ(自動・手動)

ボタンを短く押すと手動で、長めに（1秒以上）押すと自動で放送局を選べます。

1. [∨ TUNE(チューン)・SEEK(シーク) ∧]ボタンを押す

   ∧ .....周波数の高い方へ選局

   ∨ .....周波数の低い方へ選局



▼記憶済みの放送局を選ぶ

本体で記憶させた放送局(プリセット選局)から呼び出します。(「手動で放送局を記憶させる」28ページ参照)

1. [∨ PRESET CH(プリセットチャンネル) ∧]ボタンを押す

   ∧ .....プリセット番号の高い方へ選局

   ∨ .....プリセット番号の低い方へ選局

■ MD、CD利用時の操作

▼次の曲に進む/曲の頭に戻る

1. [∨ TRACK・APS(トラック・エーピーエス) ∧]ボタンを押す

   ∧ .....次の曲に進む

   ∨ .....演奏中の曲の頭に戻る

ワンポイント

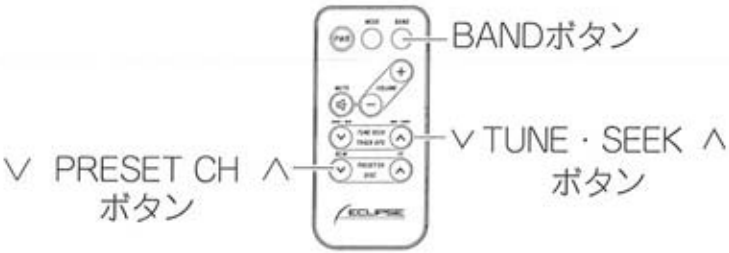
ボタンを押しつづけると、演奏中の曲を早送り(∧方向)または早戻し(∨方向)します。

▼次のディスクに進む/前のディスクに戻る

1. [∨ DISC(ディスク) ∧]ボタンを押す

   ∧.....ディスク番号が上のディスク(次のディスク)へ移動

   ∨.....ディスク番号が下のディスク(前のディスク)へ移動



▼ディスクモードを切り換える

1. [BAND(バンド)]ボタンを押す

CDプレーヤ→CDオートチェンジャー1→CDオートチェンジャー2→MDチェンジャーの順に切り換わります。
このとき、ディスクが装てんされていない機器を飛ばして表示が切り換わります。

■ TV利用時の操作（TVチューナ接続時のみ）

▼チャンネルを選ぶ

[∨ PRESET(プリセットチャンネル) CH ∧]ボタンを使うと、本体でプリセットしたチャンネルを選局できます。

1. [∨ TUNE(チューン)・SEEK(シーク) ∧]ボタンを押す

∧ .....数字が上のチャンネルを選局

∨ .....数字が下のチャンネルを選局

▼バンドを切り換える

1. [BAND(バンド)]ボタンを押す

ボタンを押すごとに、TV1→TV2の順に切り換わります。

■ 電池を交換する

> ⚠ 警告
>
> 事故防止のため、電池は幼児の手の届かないところに保管してください。万一、お子さまが飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

電池は、CR2025(1個)をご使用ください。

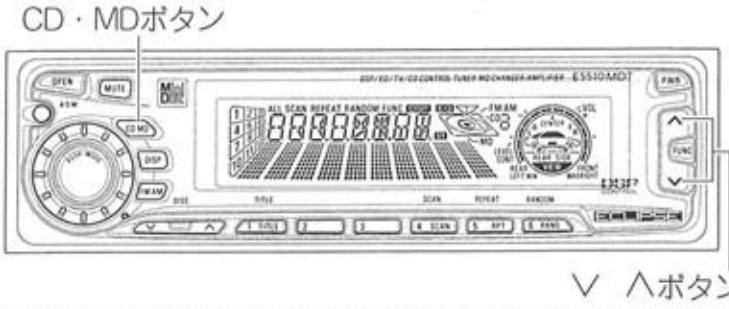
1. リモコン裏面にある引き出し口のロックを右に動かしながら、引き出し口につめをひっかけて電池ケースを引き出す

2. 電池を入れ替える
   +表示を上にして電池をセットしてください。

3. カチッと音がするまで引き出し口を差し込んで電池ケースを閉める

●注意●

誤って電池を飲み込むことのないよう、取り扱いには十分注意してください。



◆(別売)CDオートチェンジャー(CDプレーヤ)を接続したときの操作

■ 基本操作

CDオートチェンジャーまたはCDプレーヤを接続したときの操作手順を説明します。
チューナから切り換えるときは[CD・MD]ボタンを押してください。

▼MD/CDを切り換える

1. [CD・MD] ボタンを押す

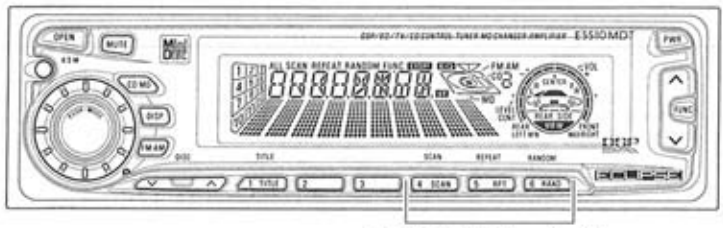
   ボタンを押すごとに、CDプレーヤ→CDオートチェンジャー1→CDオートチェンジャー2→MDチェンジャーの順に切り換わります。
   このとき、ディスクが装てんされていない機器を飛ばして表示が切り換わります。

▼次の曲に進む/曲の頭に戻る

1. [∨ ∧]ボタンを押す

   ∧ .....次の曲に進む

   ∨ .....演奏中の曲の頭に戻る



番号ボタン　4〜6

ワンポイント

ボタンを押しつづけると、演奏中の曲を早送り(∧方向)または早戻し(∨方向)します。

▼曲の始めの部分を演奏する(SCAN)

1. [番号ボタン 4]を押す

演奏しているCD全曲の始めの部分を10秒間ずつ演奏します。
「ALL SCAN」と表示されるまで押すと、装てんしている全CDの1曲目を10秒間ずつ演奏します。

▼繰り返し演奏する(REPEAT)

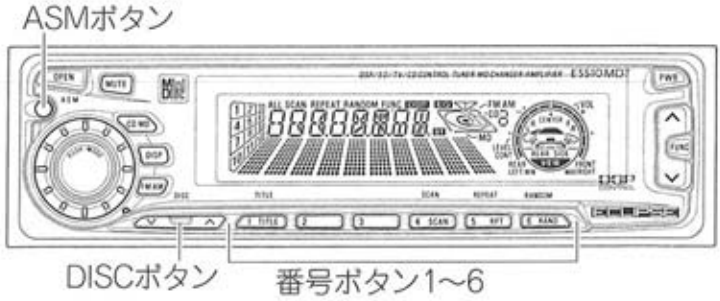
1. [番号ボタン 5]を押す

演奏中の曲を繰り返し再生します。
「ALL REPEAT」と表示されるまで押すと、演奏中のCD内の全曲を繰り返し再生します。

▼曲の順番を変えて演奏する(RANDOM)

1. [番号ボタン 6]を押す

演奏中のCD内の曲を順不同に演奏します。
「ALL RANDOM」と表示されるまで押すと、装てんしている全CD内の曲を順不同に演奏します。



ワンポイント

- まれに同じ曲が続けて演奏（選択）されることがありますが、故障ではありません。
- 「曲の始めの部分を演奏する」、「繰り返し演奏する」、「曲の順番を変えて演奏する」を選択すると表示部上部に「SCAN」、「REPEAT」、「RANDOM」、「ALL」などの文字が表示され、使用中の機能を確認することができます。

▼次のCDに進む/前のCDに戻る

1. [DISC(ディスク)]ボタンを押す

　　∧ .....CD 番号が上のディスクへ移る
　　∨ .....CD 番号が下のディスクへ移る

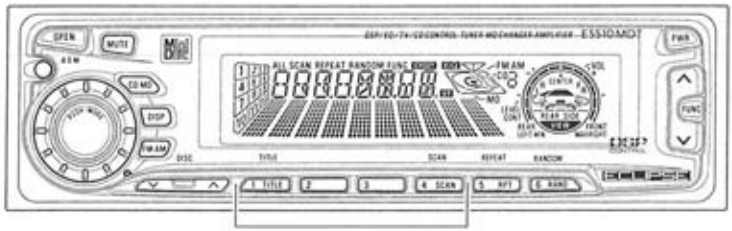
▼演奏するCDを指定する

装てんしているCDのうち、お聞きになりたいディスクをダイレクトに指定できます。

1. [ASM]ボタンを押す
2. [番号ボタン　1~6] のいずれかを押す

番号ボタン	1	2	3	4	5	6
CD番号	1	2	3	4	5	6
	7	8	9	10	11	12

CD番号7~12を指定するときは、番号ボタンを長めに押してください。



■ CDのタイトルを設定する

CDにタイトルをつけ、表示させることができます。タイトルを設定していないときは、「NO TITLE」と表示されます。

ワンポイント

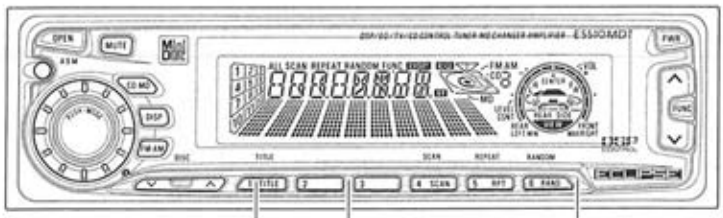
・最大30枚分のタイトルを記憶させることができます。
・すでに30枚分のタイトルを記憶しているときは、「FULL DATE」と表示され設定モードになりません。
・タイトルは、最大10文字まで入力できます。

タイトルを設定したいディスクを選んでから以下の動作を行ってください。

1. [番号ボタン 1]を押す
ディスクタイトル設定モードになります。

2. [番号ボタン 2]を押して入力する文字の種類を選択する
「SELECT □□□」と表示され、ボタンを押すと「ABC」(大文字アルファベット)、「アイウ」(カナ)、「123」(数字)、「!"#」(記号)の順に切り換わります。

3. [番号ボタン 3]または[番号ボタン 4]を押して入力位置を選択する
点滅している位置に文字が入力されます。



番号ボタン 3 .....左に戻る

番号ボタン 4 .....右に進む

ワンポイント

・入力する文字の種類を変更するときは、手順2、3を繰り返してください。
・文字は最大10文字まで入力できます。

4. [番号ボタン 5]または[番号ボタン 6]を押して文字を選択する

番号ボタン 5 .....次に進む

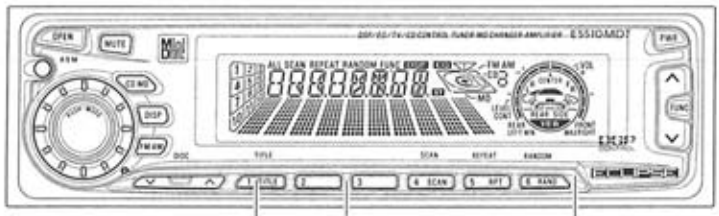
番号ボタン 6 .....前に戻る

5. [番号ボタン 1]を押す
CDのタイトルが設定されます。

■ 設定したタイトルを変更する

1. [番号ボタン 1]を押す
ディスクタイトル設定モードになります。

2. [番号ボタン 3]または[番号ボタン 4]を押して変



更したい文字を点滅させる

番号ボタン 3 .....左に戻る

番号ボタン 4 .....右に進む

3. [番号ボタン 5]または[番号ボタン 6]を押して入力する文字を選択する

番号ボタン 5 .....次に進む

番号ボタン 6 .....前に戻る

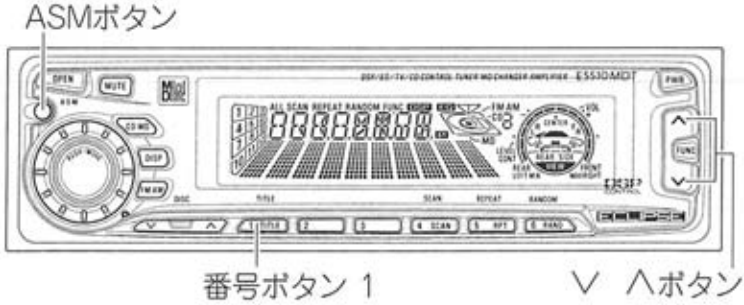
ワンポイント

空白を入れたいときは、以下の手順にしたがってください。

1. 空白を入れたい場所を点滅させる
2. [番号ボタン 6]を押すと空白の状態で点滅する
3. [番号ボタン 4]を押して移動する

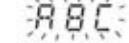
4. [番号ボタン 1]を押す

タイトルが変わります。



■ 設定したタイトルを削除する

1. タイトル全体が点滅するまで[番号ボタン 1]を押す



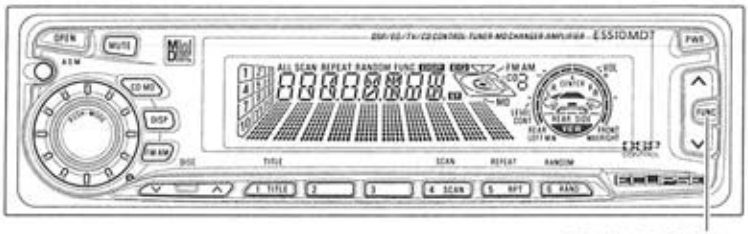
2. 「DELETE!!」と表示されるまで[ASM]ボタンを押す

ワンポイント

記憶させているタイトルを削除することができます。
- 1の状態で[∨ ∧]ボタンを押すと、メモリされているディスクタイトルをUP／DOWNします。
- メモリした順番にUP／DOWNします。

∧.....UP

∨.....DOWN



◆(別売)DSP/EQを接続したときの操作

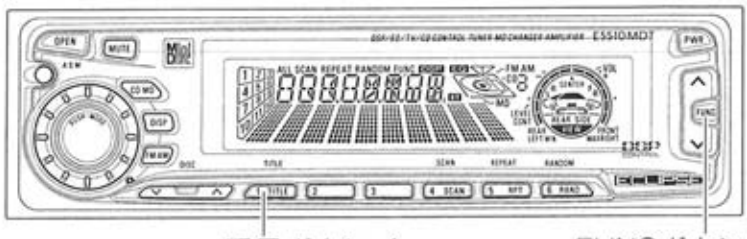
■ DSPの操作

DSPは、再生する音楽に残響音を加え、さまざまな環境（ルームサイズ）の臨場感を擬似的に再現することができます。

ここでの操作は、[FUNC]ボタンを押してファンクションモードに切り換えてから行ってください。ここではすでにファンクションモードになっていることを前提に説明します。

ワンポイント

DSPがONになっているときは表示部上部に「DSP」と点灯します。



▼ルームサイズを切り換える

1. [番号ボタン1]を押してルームサイズを切り換える

   5パターンのルームサイズが用意されています。次の順に切り換わります。

   1. CONCERT(コンサートホール)
   2. LIVE(ライブハウス)
   3. CATHEDRAL(残響音の多い教会)
   4. STADIUM(野外スタジアム)
   5. CLUB(クラブ)
   6. DEFEAT(DSP OFF)

2. [FUNC]ボタンを押す

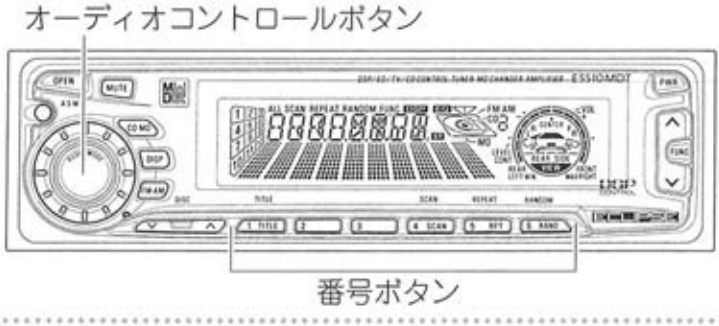
   (「DSP ADJUST」と表示されます)
   調整モードが解除され、切り換えたルームサイズが有効になります。

▼各モードの詳細を調整する

各ルームサイズのモードの詳細を調整します。

1. 詳細を変更したいルームサイズが表示されるまで[番号ボタン1]を押す
2. ルームサイズが点滅表示するまで[番号ボタン1]を押す

   DSP調整モードに切り換わります。



3. [オーディオコントロール]ボタンを押して調節するモードを選ぶ

モードは、次の順に切り換わります。

LR○○○dB　(残響音レベル)*
LR○○○SEC　(残響時間)*
ER○○○dB　(初期反射音レベル)
ER○○○ms　(初期反射時間)

* 残響音レベル、残響時間は、CONCERTモードおよびCATHEDRALモード時のみ調整可能です。

4. [オーディオコントロール]ボタンを左右に回す

レベルや時間を調整します。

右に回す.....数値が増加
左に回す.....数値が減少

5. 「P1～6 MEMORY」と表示されるまで記憶させる[番号ボタン](プリセットボタン)を押す

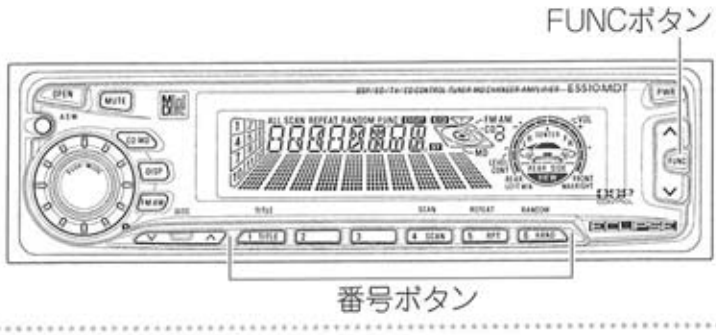
プリセットが書きかわります。

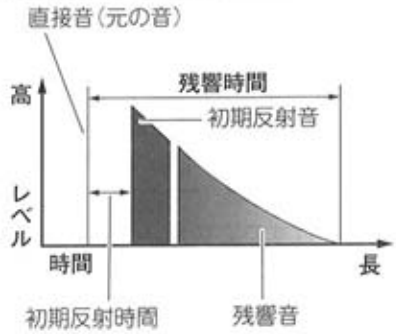
6. [FUNC]ボタンを押す

(「DSP ADJUST」と表示されます)

ワンポイント

簡易調整については、14ページの「オーディオコントロールモードの切り換え」を参照してください。
調節モードが解除され、変更が有効になります。



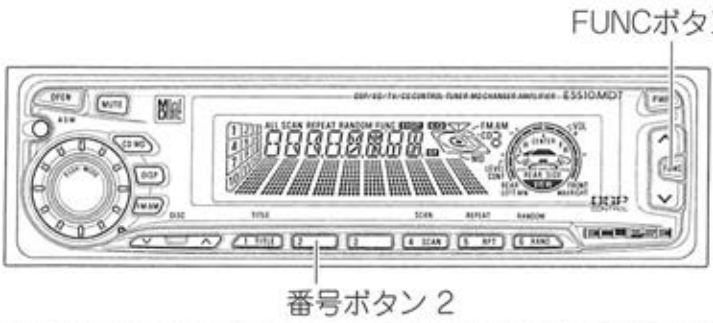


▼記憶したパターンを呼び出す

プリセットボタンを押してあらかじめ記憶したルームサイズを呼び出します。ルームサイズを記憶した番号ボタンをプリセットボタンと呼びます。

1. ルームサイズが点滅表示されるまで番号ボタン1を押す
2. 任意の［番号ボタン］を押してルームサイズを選択する
3. 「DSP ADJUST」と表示されるまで［FUNC］ボタンを押す

   選択したルームサイズが有効になります。



■ EQの操作

EQは、再生する音楽のジャンルや楽器に合わせて周波数を調整し、最適な状態で音楽を楽しむことができます。
ここでの操作は、[FUNC]ボタンを押してファンクションモードに切り換えてから行ってください。
ここではすでにファンクションモードになっていることを前提に説明します。

ワンポイント

EQがONになっているときは表示部上部に「EQ」と点灯します。

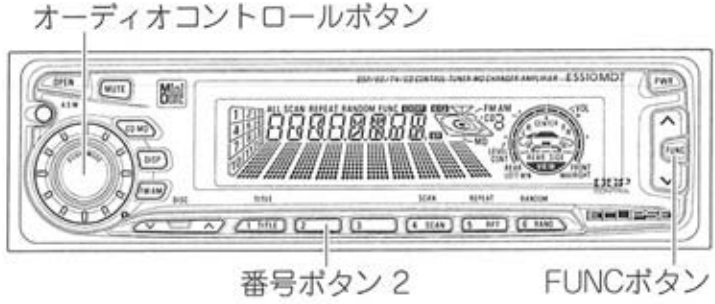
▼イコライザを切り換える

EQ調整モードに切り換わります。

1. **[番号ボタン2]を押してイコライザモードを切り換える**

6パターンのイコライザモードが用意されています。
次の順に切り換わります。

1. POPS(ポップス)
2. ROCK(ロック)
3. JAZZ(ジャズ)
4. CLASSIC(クラシック)
5. VOCAL(ボーカル)
6. NEWS(ニュース)
7. DEFEAT(EQ OFF)



2. [FUNC]ボタンを押す

(「EQ ADJUST」と表示されます)
調整モードが解除され、切り換えたイコライザモードが有効になります。

▼各モードの詳細を調整する

各イコライザモードの詳細を調整します。

1. 詳細を変更したいイコライザモードが表示されるまで[番号ボタン2]を押す
2. イコライザモードが点滅表示するまで[番号ボタン2]を押す

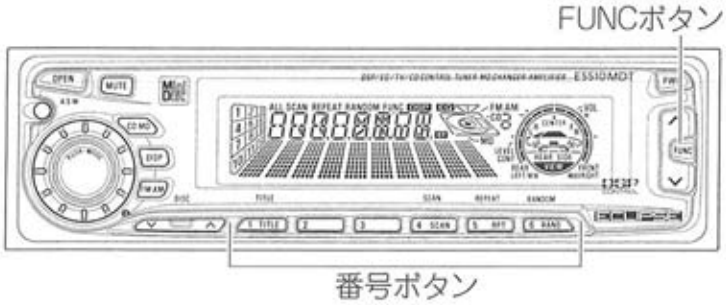
EQ調整モードに切り換わります。

3. [オーディオコントロール]ボタンを押して周波数を切り換える

周波数は、次の順に切り換わります。
63Hz→125Hz→250Hz→500Hz→1KHz→4KHz→12KHz

4. [オーディオコントロール]ボタンを左右に回す

レベルを調整します。
右に回す.....数値が増加
左に回す.....数値が減少



5. 「P1～6 MEMORY」と表示されるまで記憶させる[番号ボタン](プリセットボタン)を押す

   プリセットが書き換わります。

6. [FUNC]ボタンを押す

   (「EQ ADJUST」と表示されます)
   調節モードが解除され、変更した内容が有効になります。

ワンポイント

簡易調整については、14ページの「オーディオコントロールモードの切り換え」を参照してください。

▼記憶したイコライザモードを呼び出す

プリセットボタンを押してあらかじめ記憶したイコライザモードを呼び出します。イコライザモードを記憶した番号ボタンをプリセットボタンと呼びます。

1. イコライザモードが点滅表示されるまで[番号ボタン2]を押す
2. 任意の[番号ボタン]を押してイコライザモードを選択する
3. [FUNC]ボタンを押す

   (「EQ ADJUST」と表示されます)
   選択したイコライザモードが有効になります。

◆困ったときは

お問い合わせになる前に、次の項目をご確認ください。

●注意●

ボタンを押しても正常に動作しない、ディスプレイが誤表示するなどの異常が発生したときは、先端の尖ったものでリセットボタンを押してください。

リセットボタン

リセットボタンを押すと記憶させた内容は消去され、すべての設定が工場出荷時の値に戻ります。
MDが装てんされているときは、ディスクが排出されるので、前面パネルを開いて一度ディスクを取り出してください。

■ インフォメーションが点滅する

「INFO　No.」が表示されたときは、下表を参考に対処してください。
また、症状が改善されない場合は、機器の故障が考えられます。お買い求めの販売店にご相談ください。

No.	インフォメーション	対 処
2	マガジンにディスクが入っていない	ディスクを入れてください。
3	ディスクの信号面に紙やシールが貼ってあったり、キズやホコリがある	ディスククリーナ等で中心から外側方向へ軽く拭き取ってください。

No.	インフォメーション	対 処
4*	無録音のディスクが入っている	録音済みのディスクを入れてください。
5	オートチェンジャーのメカトラブル	・オートチェンジャーのイジェクトボタンを押して一度マガジンを出し、再度マガジンを挿入して再生してください。 ・イジェクトしてもマガジンが出ないときや再生できない場合は、お買い求めの販売店にご相談ください。
6	オートチェンジャーの内部が高温になった	しばらく待ち、温度が下がってから再生をはじめてください。 それでも機能が停止しているときは、お買い求めの販売店にご相談ください。
7	オートチェンジャーの内部電源が異常になっている	車のキーを一度OFFにし、再度ONにしてから操作してください。 それでも機能が停止しているときは、お買い求めの販売店にご相談ください。

No.	インフォメーション	対 処
8*	ディスクの交換トラブルが発生している	ディスクを再度挿入するか、取り出してください。

*この内容は、MDのみ適用されます。

	症　状	原　因	処　置	参照ページ
共　通	音が出ない。 音が小さい。	音量が下がっていませんか。	音量を上げてください。	11
		ミュート（MUTE）が働いていませんか。	ミュート（MUTE）を解除してください。	11 35
		フェダー（FADER）やバランス（BALANCE）が片寄った設定になっていませんか。	フェダー（FADER）、バランス（BALANCE）を適正な位置に調整してください。	14
		その他、音声信号配線の線噛みや断線、スピーカの故障やコネクタ抜けなどが考えられます。	ご購入の販売店にて点検を行ってください。	
	電源が入らない。	一度にたくさんの電装品を取り付けて電力不足になっていませんか。	ご購入の販売店にて点検を行ってください。	
		その他、お車のバッテリーの消耗、ヒューズ切れ／電源、通信配線の断線や線噛みなどが考えられます。	ご購入の販売店にて点検を行ってください。	
	記憶した周波数やタイトルが消えてしまう。	車の定期点検などでバッテリーを外されたことはありませんか。	もう一度記憶し直してください。	27 28
		一度にたくさんの電装品を取り付けて電力不足になっていませんか。	ご購入の販売店にて点検を行ってください。	
		その他、お車のバッテリーの消耗、ヒューズ切れ／電源、通信配線の断線や線噛みなどが考えられます。	ご購入の販売店にて点検を行ってください。	
	ガイドトーンが出ない。	ガイドトーンの設定がOFFになっていませんか。	ガイドトーンの設定をし直してください。	12
	リモコン操作ができない。	リモコンの電池が消耗していませんか。	リモコンの電池を交換してください。	39
		リモコンの電池の向きが＋－逆になっていませんか。	正しい向きにセットし直してください。	39
		リモコン受光部に直射日光が当たっていませんか。 リモコン受光部が汚れていませんか。 リモコン受光部前に障害物がありませんか。	リモコン受光部にリモコンを近づけてご使用ください。 障害物が赤外線を遮らないようにしてください。	35
		その他、リモコンの故障が考えられます。	ご購入の販売店にて点検を行ってください。	

	症 状	原 因	処 置	参照ページ
M D	ディスクが入らない。 ディスクを入れてもすぐ出てくる。	本機に収納できるディスクは最大4枚です。すでにこの状態になっていませんか。	ディスクを排出してください。	23
		ディスクカートリッジの向きに誤りはありませんか。	正しい向きにセットし直してください。	10
		ディスクカートリッジのラベルがはがれかかっていませんか。	ディスクのラベルを替えてください。	6
		ディスクカートリッジに変形や破損箇所はありませんか。	他のディスクに入れ替えてみてください。変形や破損したディスクは、使用しないでください。	
		無録音のディスクを使用していませんか。	録音済みのディスクを使用してください。	
	4枚目のディスクが入らない。	STORE（ストア）操作を忘れていませんか。	4枚目のディスクを聞く場合は、ディスク挿入前に必ずSTORE（ストア）ボタンを押してください。	21
	ディスクが排出できない。 ディスクチェンジができない。	ディスクカートリッジに変形や破損箇所はありませんか。	他のディスクに入れ換えてみてください。変形や破損したディスクは、使用しないでください。	
		ディスクカートリッジのラベルがはがれかかっていませんか。	ディスクのラベルを整えてください。排出できない場合は、ご購入の販売店にて点検を行ってください。	6
	音が飛ぶ。 音が途切れる。 音質が悪い。	ディスクにキズや汚れはありませんか。	他のディスクに入れ換えてみてください。キズのあるディスクは、使用しないでください。	
		取り付け角度は適正ですか。取り付けにガタはありませんか。	ご購入の販売店にて点検を行ってください。	
		悪路を走行されていませんか。	悪路走行での使用は、できる限り避けてください。	5
		その他、録音に使用された機器の調子が悪い、録音ソース（CD、テープなど）の音質やトラブルなどが考えられます。	ご購入の販売店にて点検を行ってください。	

	症　状	原　因	処　置	参照ページ
ラジオ	放送を受信できない。雑音が入る。	アンテナが収納状態ではありませんか。アンテナコードは抜けていませんか。	アンテナを伸ばしてください。	
		周波数が正しくセットされていますか。	周波数を正しくセットし直してください。	27 28
		放送サービスエリアを外れていませんか。	移動先の地域の放送周波数にセットし直してください。（放送サービスの無い地域もありますので、ご注意ください。）	10
		コンピュータを搭載した機器や携帯電話などを使用されていませんか。	機器の使用を停止すれば解消されます。常に発生する場合は、ご購入の販売店にて点検を行ってください。	
		その他、アンテナの劣化やアンテナ配線の断線などが考えられます。	ご購入の販売店にて点検を行ってください。	

◆仕様について

本機の仕様は、次のようになっています。

MD部

周波数特性	20Hz～20,000Hz
ダイナミックレンジ	90dB
S/N比	94dB(IHF-Aネットワーク)
高調波歪み率	0.03%(0dB, 1kHz)
ワウ・フラッタ	測定限界以下

チューナ部・FM

受信周波数	76.0～90.0MHz
実用感度	15dBf(S/N30dB時)
周波数特性	30Hz～15,000Hz

チューナ部・AM

受信周波数	522～1629kHz
実用感度	32μV(S/N20dB時)

共通部

トーンコントロール	・BASS	100Hz±10dB
	・TREBLE	10kHz±10dB
最大出力	40W×4(最大)	
適合負荷インピーダンス	4Ω(各チャンネル)	
電源電圧	DC13.2V(11～16V)、⊖アース専用	
消費電流	1W×4出力時 約3.5A、最大約13A	
寸 法	・本体: 178mm(幅)×50mm(高さ)×165mm(奥行)	
	・アンプ部: 180mm(幅)×51mm(高さ)×153mm(奥行)	
重 量	・本体約2.0Kg	
	・アンプ部約1.2Kg	

●注意●

部品定数および回路は、性能向上のため予告なく変更することがあります。

本機は、ドルビーラボラトリーズライセンシングコーポレーションの米国および外国特許に基づく許諾製品です。
本機は、DSP/EQ、TV、CDオートチェンジャー等と接続できます。詳しくは、販売店にお問い合わせください。

◆アフターサービスについて

1. 販売店でお渡しする保証書は、かならず「販売店名、お買い上げ日」などの記入および記載内容をその場でお確しかめのうえ、大切に保管してください。
2. 保証期間は、お買い上げ日から1年間です。
3. 故障かなと思ったときは、修理に出す前に本書の「困ったときは」をご覧のうえ、もう一度お調べください。それでも問題が解決しない場合は、次の要領でお問い合わせください。

   ◆ 保証期間中は、商品に保証書を添えてお買い求めの販売店にお持込みください。
   保証書に記載しております保証規定にもとづいて、無料で修理いたします。
   ＊修理、点検における商品の脱着費用は、保証期間内でも基本的に有償となります。

   ◆ 保証期間が過ぎているときは、お買い求めの販売店にご相談ください。
   お客様のご希望により、有料で修理いたします。

4. 出張による修理および点検はおこなっておりません。
   かならずお買い求めの販売店にお持ち込みください。
5. この商品の補修用性能部品(機能を維持するために必要な部品)は、製造打ち切り後最低6年間保有しております。

商品に関するお問い合わせ先

〈修理に関するお問い合わせについては、お求めの販売店または最寄りの下記販売会社へ〉

※修理のご依頼は、お求めの販売店へお願いいたします。

富士通テン北海道(株)	〒003-0809 札幌市白石区菊水9条2丁目1番地	(011)821-2221	北海道全域
富士通テン東日本(株)	〒160-0023 東京都新宿区西新宿8丁目14番24号 (西新宿KFビル)	(03)5330-6244	東京、神奈川、千葉、甲信越地区
北関東支店	〒329-0201 栃木県小山市大字雨宮1851番地1	(0285)22-6410	栃木、埼玉、群馬、茨城
仙台支店	〒983-0841 仙台市宮城野区原町2丁目3番48号 (イワイビル)	(022)256-2291	東北地区
富士通テン中部(株)	〒450-0003 名古屋市中村区名駅南3丁目11番10号	(052)581-8621	愛知、岐阜、三重
北陸支店	〒920-0918 金沢市尾山町1番8号 (朝日生命金沢ビル)	(076)222-0185	福井、石川、富山
静岡営業所	〒422-8067 静岡市南町18番1号 (サウスポット静岡13階)	(054)203-0090	静岡
富士通テン関西(株)	〒658-0046 神戸市東灘区御影本町6丁目2番21号	(078)811-2451	兵庫
大阪支店	〒571-0064 大阪府門真市御堂町3番23号	(06)6902-8414	大阪、京都、滋賀、奈良、和歌山
広島支店	〒734-0044 広島市南区西霞町2番25号	(082)255-2422	中国地区
高松営業所	〒760-0034 高松市内町1番13号 (日新内町ビル)	(087)822-1411	四国地区
富士通テン西日本(株)	〒812-0032 福岡市南区塩原2丁目7番7号	(092)511-3210	福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、沖縄
鹿児島営業所	〒890-0053 鹿児島市中央町16番10号 (スカイビル)	(099)250-4737	鹿児島、宮崎

〈商品の機能・操作に関するお問い合わせはお求めの販売店または下記「お客様相談窓口」へ〉

【お客様相談窓口】

富士通テン北海道(株)	(011)821-2221	北海道全域
富士通テン東日本(株)	(03)3366-3833	東北、関東、甲信越地区
富士通テン中部(株)	(052)581-8726	中部、北陸地区
富士通テン関西(株)	(078)811-2451	近畿、中国、四国地区
富士通テン西日本(株)	(092)511-3252	九州全域、沖縄
富士通テン(株)本社	0120-022210	

受付時間：午前10：00～12：00　午後1：00～5：00
〈土・日・祝日などを除く〉

富士通テン株式会社
所在地　〒652-8510　神戸市兵庫区御所通1丁目2番28号
電話　神戸(078) 671-5081(代表)

090002-23690700
0001MT (N)